

B+COM 6X ヘルメット取付資料



RX-7X

(クイックマニュアルと併せてご覧ください)



Arai RX-7X B+COM SB6X 取付方法

①準備



ヘルメットと B+COM を用意します。破損防止のため、タオルやマットなどの上での作業をおすすめします。



用意するもの

| No | 名称 | 数量 |
|----|-------------------|----|
| ① | B+COM SB6X 本体ユニット | 1 |
| ② | スピーカー | 1 |
| ③ | ワイヤーマイク | 1 |
| ④ | ワイヤーマイク用スポンジ | 1 |
| ⑤ | ベースプレート | 1 |
| ⑥ | スピーカーハーネス固定用クリップ | 1 |
| ⑦ | スピーカー固定用面ファスナー | 2 |
| ⑧ | スピーカー固定用調整パッド | 4 |



スピーカー裏面へベルクロフック（硬い方）を貼り付ける。



ベースプレートを取り付けます。
※ワイヤークリップタイプの場合
※ベースプレートの組立て方法については本冊子 6 ページ
『ベースプレートの組立』をご確認下さい。

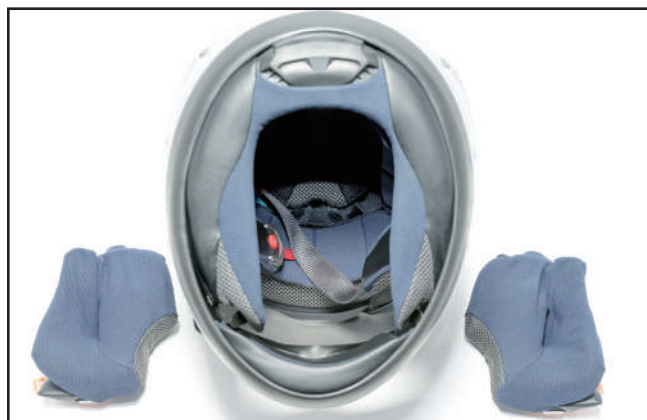


面ファスナータイプを使用して取り付けを行う場合は上図のように「面ファスナー」をヘルメットに貼り付けて下さい。
※面ファスナー貼付前に必ず貼付箇所の脱脂を行って下さい。
※面ファスナーを貼り直す場合は、塗装を痛めないようご注意ください。



Arai RX-7X B+COM SB6X 取付方法

②スピーカーの取付



ヘルメットのシステムパッドを取り外します。
※ヘルメット内装の取り外し、取付に関しましてはヘルメットの取扱説明書をご参照下さい。



パッドカバーを外し、右側スピーカーを取り付けます。左側のスピーカーも同様に取り付けます。耳とスピーカーの隙間が狭く、痛みを感じる場合は、図のスポンジ部分を取り外してください。
※ヘルメットに対するフィット具合、および個人差がある為、スピーカー位置は微調整が必要です。



右側システムパッドを取り付けます。

※耳とスピーカーの間に隙間がある場合、スピーカー調整スポンジで高さを調整して下さい。



ヘルメット後方の2箇所のスナップボタンを外し、配線を帽体と内装の隙間に通します。
※配線を頭頂部側から通した場合、配線長が足りなくなる場合がございます。



配線を通し終わったらスナップボタンを元に戻します。



Arai RX-7X B+COM SB6X 取付方法



スピーカー配線をコネクタホルダーに仮固定します。

③ マイク取付



マイクを取り付ける位置にマイクスポンジを貼ります。
※エアダクトと被らないように設置して下さい。



内装の内側に設置されている爪を避けて配線しながら
チークパッドを取り付けます。
※画像ではシステムネックの枠の外側へ配線していますが、
システムネックの帽体側、シェル側に配線を通す方法
がメンテナンスしやすく、おすすめです。



マイク配線は内装の隙間から取り出します。



左側チークパッドを元に戻し、ワイヤーマイクを取り付け
ます。



本体を取り付け、マイク、スピーカーの配線を接続します。



下から見た図。



Arai RX-7X B+COM SB6X 取付方法

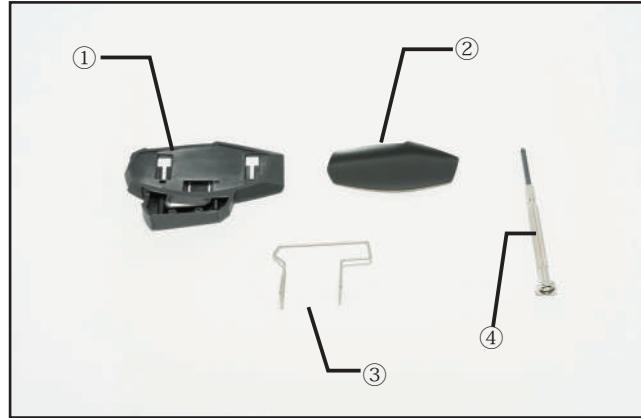


以上で取付完了です。



配線は内装の内側にあるため、配線は見えません。

ベースプレートの組立①



用意するもの

| 名称 | 数量 |
|-------------------|----|
| ①ベースプレート本体 | 1 |
| ②保護ラバー | 1 |
| ③ワイヤークリップ | 1 |
| ④プラスの精密ドライバー (#1) | 1 |



保護ラバーを貼り付ける前に、貼付箇所を脱脂します。



保護ラバーを貼付部の角に合わせながら貼り付けます。



全体に浮き等がないようにしっかりと貼り付けます。

ベースプレートの組立②



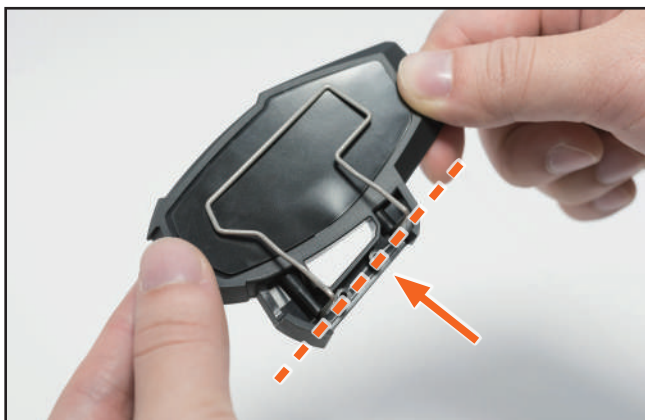
ドライバーを使用してワイヤークリップホルダーとプレート
を固定しているネジを2箇所外します。



ワイヤークリップホルダーを取り外します。



2箇所の穴へ、矢印方向にワイヤークリップを差し込みま
す



ワイヤークリップは上図のように壁に当たるまでしっかりと
押し込みます。



ワイヤークリップホルダーをガイドに沿って取り付けま
す。



ドライバーを使用してプレートとワイヤークリップホル
ダーを固定します。

ベースプレートの組立③



ネジを締め終わったら必ずプレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がないことを確認して下さい。

＜注 意＞



プレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がある状態でヘルメットに取り付けご使用されますと、ベースプレートが破損し、最悪の場合、本体が脱落する危険が御座います。



完成。

ベースプレートの取付手順



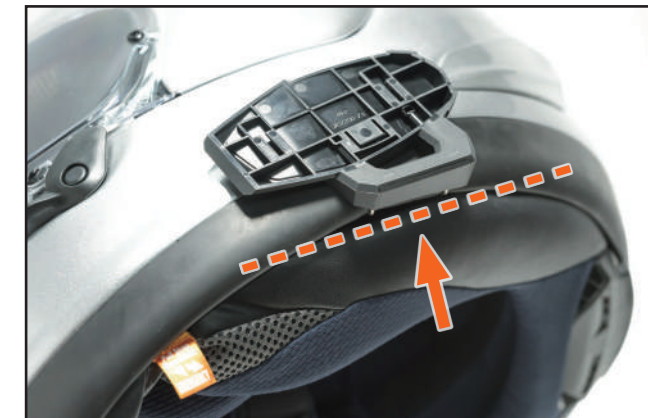
ベースプレート先端をヘルメットの縁に押し付けながら矢印方向へ押し込みます。

《ご注意下さい》

ワイヤークリップ部分を大きく広げてのお取付けは必要以上の負荷が掛かり、ベースプレートの破損原因となります。



矢印の方向に回しながら押し込みます。



縁にしっかりと当たるまで押し込み完了です。